



せいしょ きせき ものがたり
聖書の奇跡の物語：

みづ しゅ 水がぶどう酒になる

(ヨハネによる福音書 第2章 1-11節)

ガリラヤのカナで結婚式があり、イエス様の母親がそこにいました。イエス様と弟子たちも、その結婚式に招かれていました。

ぶどう酒が足りなくなると、イエス様の母親がイエス様に言いました。

「ぶどう酒がなくなっていました。」

それからイエス様の母親は召使たちに言いました。「この人が言うことを、何でもしてください。」

そこには、大きな石の水がめが六つ置いてありました。イエス様は召使たちに言いました。「水がめに、水をいっぱい入れなさい。」そこで召使たちは水がめのふちまで、いっぱい水を入れました。するとイエス様は言いました。「さあ、それをくんで、料理頭のところに持って行きなさい。」

料理頭がぶどう酒になった水の味見をしました。それがどこから来たのかわからなかった。水（水をくんだ召使たちは知っていました）、花むこを呼んで言いました。「だれでも、初めに良いぶどう酒を出し、よいがまわったところにおとったものを出すものですが、あなたは、良いぶどう酒を今まで取っておかれました。」

これは、イエス様が行った最初の奇跡です。それによってイエス様の栄光が現され、弟子たちはイエス様を信じたのでした。

